

研究結果説明書

1. 事業の実施期間

令和4年4月12日(契約締結日) ～ 令和5年3月31日

2. COREネットワークの構成

(1) COREネットワークの名称:『CORE0-Net.』(コレオネット)

(2) COREネットワークを構成する高等学校等

- | | |
|--------------|-------------|
| ①中津南高等学校耶馬溪校 | ②久住高原農業高等学校 |
| ③国東高等学校 | ④佐伯豊南高等学校 |
| ⑤中津南高等学校 | ⑥大分南高等学校 |
| ⑦情報科学高等学校 | |

3. 調査研究結果の概要

(1)「教科・科目充実型」の遠隔授業などICTも活用した連携・協働の取組

(受信教室における体制の在り方に関する取組を含む。)

- ・地域の小規模校での、生徒の多様なニーズに応える習熟度別の遠隔授業の実施
- ・地域との協働、他校生徒との連携による地域課題解決に向けた協働学習の実践
- ・限定的な教員配置の課題に対応するための免許外職員による受信体制の研究

(2) 学校間連携を行うための運営体制に関する取組

- ・各連携校における校内運営体制の構築
- ・連携校の当該担当間で連携・調整し取組を実施、実施後に協働して検証・改善

(3) 市町村、高等教育機関、産業界等との協働によるコンソーシアムを構築し、学校外の教育資源を活用した探究的な学びなどによる教育の高度化・多様化に関する取組

- ・本構想の受信校4校において、県予算事業を活用しコンソーシアムを立ち上げ
- ・第一段階として、各高校はコンソーシアムを活用し、地域ぐるみによる教育を実践(高校を核とした縦の連携)。第二段階で、地域連携に係るネットワークの核となる耶馬溪校をリーダー校とし、生徒が主体となって意見交換などの企画を考案、実施(耶馬溪校を中心とした横の連携)。

4. 調査研究の実績

(1) 実施日程

月	実施内容
R4年4月	○職員研修(連携校関係者) <ul style="list-style-type: none">・事業内容とスケジュールの確認・本年度の達成指標確認・実施に向けた課題の整理 ○配信担当者と受信校教科担当と協議 ○遠隔授業実施に向けた進捗表・シラバス作成

	<p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南
5月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p>○コンソーシアム校内WG会議</p> <p>○コンソーシアムを活用した活動</p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南 <p>○学校から報告書提出（問題点等）</p>
6月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p>○第1回コンソーシアム連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の目指す生徒像の共有化、学校の活動計画の提示 ・地域探究学習の計画等 <p>○コンソーシアムを活用した活動</p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南
7月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p>○CIO・管理機関の学校訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書に対する管理機関からの助言 <p>○連携校間打合せ（耶馬溪、国東、久住高原農業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTリーダー・班チーフ顔合わせ、年間スケジュール確認 <p>○コンソーシアムを活用した活動</p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南 <p>○学校から報告書提出（問題点等）</p>
8月	<p>○職員研修（関係校職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な授業実施に向けた工夫改善 ・授業内容について協議 ・管理機関から課題への対応案提示 <p>○R5年度遠隔授業の実施に向けた打ち合わせ（受信校校内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程協議 <p>○コンソーシアムを活用した活動</p>
9月	<p>○R5年度遠隔授業の実施に向けた打ち合わせ（受信校配信校間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程協議

	<p><u>○コンソーシアムWG会議（中心メンバーによる実務会議）</u></p> <p><u>○連携校間打合せ（PTリーダー、班チーフ）</u></p> <p><u>○コンソーシアムを活用した活動</u></p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南 <p>○学校から報告書提出（問題点等）</p>
10月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p><u>○第2回コンソーシアム連絡会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域探究学習の進捗と検証・改善 <p><u>○コンソーシアムを活用した活動</u></p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南
11月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p><u>○コンソーシアムを活用した活動</u></p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南 <p>○学校から報告書提出（問題点等）</p>
12月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p>○CIO・管理機関の学校訪問</p> <p><u>○コンソーシアムを活用した活動</u></p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南
R5年1月	<p>○配信教員と受信側教科担当との協議</p> <p><u>○コンソーシアムを活用した活動</u></p> <p>○遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南 <p><u>○探究的学習 校内報告会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内で地域探究学習成果発表会 ・コンソーシアム関係者参加・助言 <p>○学校から報告書提出（問題点等）</p>

2月	<ul style="list-style-type: none"> ○配信教員と受信側教科担当との協議 ○<u>コンソーシアムを活用した活動</u> ○遠隔授業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中津南 ⇒ 耶馬溪校、久住高原農業 ・情報科学 ⇒ 耶馬溪校、国東 ・大分南 ⇒ 耶馬溪校、佐伯豊南
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○配信教員と受信側教科担当との協議 ○<u>第3回コンソーシアム連絡会</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>年間総括（検証・改善に向けて）</u> ○学校から報告書提出

※学校における調査研究の実績のほか、コンソーシアムの活動等についても記入すること。
※遠隔授業システムを活用した教育課程外の取組については、アンダーラインを付すこと。

(2) 調査研究実績の説明

①「教科・科目充実型」の遠隔授業などICTも活用した連携・協働の取組

(受信教室における体制の在り方に関する取組を含む。)

○地域の小規模校での、生徒の多様なニーズに応える習熟度別の遠隔授業の実施

- ・習熟度別（数学・外国語）授業において、大規模進学校からの配信により、生徒の学習意欲の向上に繋がっている。また心身の面で不安定な時期にあった生徒においても、この授業については欠課などなく、参加することができた。
- ・受信校の生徒とのコミュニケーションを図るため、年度当初と定期考査後に、対面授業を取り入れた。
- ・（授業の復習を兼ねた）小問での毎日課題を行うことで、評価に加えて行うとともに、返信の際にコメントをつけることで、コミュニケーションツールにも繋がってきた。

○地域との協働、他校生徒との連携による地域課題解決に向けた協働学習の実践

- ・コンソーシアムを活用した地域の課題発見・解決に向けた取組を、生徒が積極的に参加することで、地元の魅力発見・愛着度の向上に繋がっている。

○限定的な教員配置の課題に対応するための免許外職員による受信体制の研究

- ・久住高原農業高校において、受信校側に学習支援員を配置し行ってきた。このことにより、授業担当者が生徒の状況を把握するために、授業前後に情報共有の時間を取り入れていくことにより、スムーズに行うことができた。

②学校間連携を行うための運営体制に関する取組

○連携校の当該担当間で連携・調整し取組を実施、実施後に協働して検証・改善

- ・連携校間での情報交換はもとより、本構想7校における情報共有の場を設けたことで、授業の評価方法について、工夫点の共有を図ることができた。

③市町村、高等教育機関、産業界等との協働によるコンソーシアムを構築し、学校外の教育資源を活用した探究的な学びなどによる教育の高度化・多様化に関する取組

○本構想の受信校4校において、県予算事業を活用しコンソーシアムを立ち上げ

- ・地域の小規模校において、地域との連携を通して、地元の魅力発見や愛着度の向上に繋がってきている。このことにより、生徒は将来の目標に、地域貢献を意識する

ようになってきている。

○各高校はコンソーシアムを活用し、地域ぐるみによる教育を実践

地域連携に係るネットワークの核となる耶馬溪校をリーダー校とし、生徒が主体となって意見交換などの企画を考案、実施

・福祉系におけるオンラインを活用した生徒間の意見交換会を行ったことで、小規模校の生徒も、多くの生徒の意見に触れることが福祉に対する意識の高揚に繋がった。

(R4福祉コースの生徒については、全員福祉系の就職・進学をした)

5. 遠隔授業の実施状況

受信校	教科	科目	遠隔授業を実施した授業回数(対面授業を除く。)
中津南高等学校耶馬溪校	数学	数学A	45
中津南高等学校耶馬溪校	外国語	英語表現I	43
中津南高等学校耶馬溪校	福祉	こころとからだの理解	36
中津南高等学校耶馬溪校	商業	情報処理	40
久住高原農業高等学校	数学	数学A	47
久住高原農業高等学校	外国語	英語表現II	47
佐伯豊南高等学校	福祉	介護福祉基礎	10
国東高等学校	商業	プログラミング	32

6. 調査研究の進捗状況、成果、評価(※目標設定シート(別紙様式1 別添4)を添付)

1. 本構想において、実現する成果目標の設定(アウトカム)

(1) 学びの基礎診断等により把握する生徒の学力の定着・向上の状況

	2年度(実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		C3以上60%	C3以上70%	B層5名以上
実績値	平均値D2	C3以上30.1%	C3以上37.5%	
把握のための測定方法及び指標	<ul style="list-style-type: none"> ・受信校5校:進路マップ「基礎力診断テスト」年2回受験 ・受験後の検討会で学力向上の検証(受信校複数の場合は合同検討会) ・R3~R4はC層の増加(底上げ)、R5は上位層の増加を図るもの 			

(2) 地域課題の解決等の探究的な学びに関する科目等の数(総合的な探究の時間を含む。)

	2年度(実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		7	9	11
実績値	5	5	5	

(参考) 上記のうち、学校設定科目の数

	2年度(実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		3	4	4
実績値	1	1	1	

(3) 免許外教科担任制度の活用件数

	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		4	5	5
実績値	0	0	2	
構成校の数	R4 : 7校、R5 : 8校			

(4) その他、管理機関が設定した成果目標

成果目標①：受信校生徒の4年制大学への進学者数

	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		6	8	10
実績値	4	4	29	
目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲向上と学力向上の効果として大学進学者の増加を測るもの ・R3 試行、R4 遠隔授業（多くが2年生対象）の成果を見据え設定 ・受信校5校（該当学科・コース）の合計数とする。 ・R3：耶馬溪校2名、久住高原農業2名、国東0名 佐伯豊南1名、三重総合24名 （国東はビジネスITコース、佐伯豊南は福祉科） 			

成果目標②：授業を受けることで自分の学力が向上していると思う生徒（割合）

	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度
目標値		73.0%	76.5%	80.0%
実績値	69.6%	85.9%	90.2%	
目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・よりきめ細かい授業の提供による学力向上の自己評価を測るもの ・高校教育課が毎年実施する学習習慣実態調査を活用（受信校平均）高2対象（国東ビジネスITコースのみ1年、佐伯豊南は福祉科） 			

2. COREハイスクール・ネットワークとしての活動指標（アウトプット）

(1) COREネットワークの構成校における遠隔授業の実施科目数

	2年度	3年度	4年度	5年度
実績	0	0	8	
見込み		7	8	9

(2) 地元自治体等の関係機関とコンソーシアムを構築している学校数

	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度
実績	0	4	4	
見込み		4	4	5

(3) その他、管理機関が設定した活動指標

活動指標①：遠隔授業の取組についてメディア等を通じて情報発信した回数

	2年度 (実績)	3年度	4年度	5年度

実績	0	0	0	
見込み		8	13	16
活動指標 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力発信や、他校への普及の取組を促進するために設定 ・R3年以降、連携校7校に加え管理機関からも情報を発信 			

活動指標②：県主催の高校魅力化に係る研修会への地域からの参加者数

	2年度（実績）	3年度	4年度	5年度
実績	0	0	20	
見込み		4	17	21
活動指標 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の協働の進捗状況を測るもの ・高校の魅力づくりへの、地域の主体的な参画という観点から設定 			

7. 次年度以降の課題及び改善点

- ・今年度、各連携校間で行った方法を年度末に共有したので、授業者における工夫による生徒の理解度の見取り、評価手法について継続的な研究を進めるために、情報交換の場を設置する。(GoogleFormsを活用し、各授業の工夫・改善について、意見集約を行う)
- ・授業支援アプリ(MetaMojiClassRoom等)の有効活用研究
(授業での提供資料による、復習に繋がる活用方法の継続的な研究)
- ・50分の授業を充実させるために、受信校での授業補助について研究
(教員以外による授業補助者の在り方について、継続的な研究)
- ・遠隔授業の拡充に向けた検討を進める上で、配信校・受信校間の校時のずれについて継続的に検討
- ・総合的な探究の時間等で効果を上げるため、地域資源を活かすために、地域ぐるみによる教育の研究
- ・連携校間での情報交換・意見交換の場を設定し、遠隔授業の充実を図る
- ・ICT機器を活用した「生徒間交流」の積極的な導入にむけた取組の強化

R4コンソーシアム取組表

対象校	コンソーシアムを構築する構成団体	各学校取組
中津南高校 耶馬溪校	中津市役所耶馬溪支所	5月：第1回耶馬溪校地域連携推進協議会（コンソーシアム連絡会） ホタル授業 だいだいクラブ（定期開催）
	中津市教育委員会学校教育課	7月：先輩と語る会 9月からの事業打ち合わせ講師依頼（随時）
	社会福祉法人もみじ園	9月：洋菓子講習会 SDGs 外部講師招へい
	中津市企画観光部地域振興・広聴課	10月：フィールドワーク 取材活動 編集 外部講師招へいによる活動
	中津市立耶馬溪中学校 元校長	12月：SDGs ワークショップ
	耶馬溪校 PTA	2月：成果発表会 第2回耶馬溪校地域連携推進協議会（コンソーシアム連絡会）
	中津市しもげ商工会	
	下郷農協	
久住高原農業高校	竹田市教育委員会	5月：第1回学校運営協議会（コンソーシアム連絡会）
	九州大学 農学部附属農場高原農業実験実習場	6月：外部講師招聘授業①
	竹田市総務課	7月：外部講師招聘授業②
	竹田市久住支所	9月：外部講師招聘授業③④
	久住高原農業高校 PTA	10月：竹田市食育事業① 外部講師招聘授業⑤ 第2回学校運営協議会（コンソーシアム連絡会）
	竹田市地域おこし協力隊	11月：収穫祭 竹楽ボランティア 竹田市食育事業②
	大分県豊肥振興局 農山村振興部	12月：竹田市食育事業③ 中学校への出前授業
	竹田市久住町立都野中学校	1月：学習成果発表会 竹田市食育事業④
	竹田市久住町立都野小学校	2月：第3回学校運営協議会（コンソーシアム連絡会） 竹田市食育事業⑤
	地域代表（農業関係）	
	企業代表（農業関係）（追加）	
国東高校	国東市（副市長）	7、9、10、1、2月：デザインシンキング（講演会・中間発表・企業訪問・発表）
	国東市教育委員会	5、6月：近隣の中学校への出前授業
	国東市財政課	8月：リージョナル・メディカリスト育成セミナー
	国東市政策企画課	10～12月：夢ラボ（講演会・訪問インタビュー・発表）
	国東市学校教育課	5～12月：七島蘭苗植、オリジナル製品製作
	大分県産業教育振興会	12月：ため池架橋整備
	各企業（追加）	1月：課題成果発表会 全体のコンソーシアム連絡会は実施せず、取組項目ごと協議会を適宜実施
佐伯豊南高校	佐伯市 地域振興部 商工振興課	5～10月：豊南アカデミー（出前授業・体験学習）
	社会福祉法人青山21 げんきファーム	6月：佐伯豊南高校魅力化・夢・未来の会（コンソーシアム連絡会） 「豊南マンスリー（中学生向け学校新聞）」を毎月発行・配布
	川澄化学工業株式会社	7～12月：ドローン・ロボット教室
	大分県南部振興局	9月：Web版「成長の軌跡」の作成
	別府大学 食物栄養科	11月：花壇造成プロジェクト（地元自治会）
	ジョブカフェおおいた 佐伯サテライト	1月：4科合同学修成果発表会、新商品プレス発表 2月：佐伯豊南高校魅力化・夢・未来の会（コンソーシアム連絡会）